

2026年4月13日
イオン株式会社
イオンフィナンシャルサービス株式会社

大網白里市とイオン株式会社との包括連携に関する協定締結について 大網白里市の移住・定住促進に貢献するご当地WAONも発行

イオン株式会社（取締役 代表執行役社長：吉田 昭夫）と千葉県大網白里市（市長：金坂 昌典）は2026年4月13日、包括連携に関する協定を締結します。

イオンと大網白里市は、これまでも移動販売や高齢者見守り、買物リハビリ支援など、地域の課題解決に向けた取り組みを行ってきました。

【主な連携事項】

- (1) 健康増進及び食の安全に関すること
- (2) 高齢者福祉・障害者福祉に関すること
- (3) 子育て支援及び青少年の健全育成に関すること
- (4) 教育・文化・観光・スポーツの振興に関すること
- (5) 環境保全に関すること
- (6) 防災・危機管理・防犯に関すること
- (7) 地域振興・産業振興・地産地消の推進に関すること
- (8) 市政の情報発信及びPRに関すること
- (9) データ活用、DX、電子決済を活用した地域経済貢献に関すること
- (10) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

本協定の取り組みの一環として、イオンはご当地WAON「大網白里マリン WAON」を4月13日に発行します。カードには、市のマスコットキャラクター「マリン」と九十九里の海、地場産品のイチゴ、海岸を彩るハマヒルガオをデザインしました。



<表面>



<裏面>



AEON Pay(チャージ払い)
WAON タッチ

イオンは、2009年より全国各地の自治体との連携のもと、利用金額の一部が地域社会への貢献につながる「ご当地WAON」を発行しています。全国のAEON Pay加盟店約415万カ所、WAON加盟店約160万カ所で、「大網白里マリン WAON」をご利用いただくと、その利用金額の一部をイオンが大網白里市に寄付し、大網白里市の総合計画で掲げる将来像「未来に向けてみんなでつくろう！住みたい・住み続けたいまち」の実現に向けて「移住・定住促進」の取り組みに活用します。これらの取り組みを通して本協定締結を契機により一層連携を強化し市民サービスの向上を図っていきます。

◆地域の方々が気軽に利用する商業施設の特性をフル活用。これまでの大網白里市とイオンの取り組み例

・移動販売車の運行及び「地域の見守りと買い物支援に関する協定」締結

ご高齢の方を主としたお買物支援の一環として、イオンは地域の皆さまのご要望と、大網白里市のご協力のもと、移動販売の運行を実施しています。カスミ大網店とイオン大網白里店を拠点店舗とし大網白里市内の日々の買物が不便と感じられている方が多いエリアを中心に、現在42カ所で巡回販売を行っています。

また、イオン大網白里店は、2024年7月に「地域の見守りと買い物支援に関する協定」を締結しました。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域における高齢者の見守り並びに買物困難者への支援を行うことにより、地域福祉向上に寄与することを目的としています。



・大網白里市指定のごみ袋を「レジごみ袋」として販売

イオン大網白里店は、2023年5月より、大網白里市指定可燃ごみ袋を「レジごみ袋」として販売しています。

「レジごみ袋」はレジ袋代わりに使えるごみ袋です。

「レジごみ袋」の利用促進により、レジ袋の総量を抑え、環境負荷を軽減することを目的としています。

本取組みは千葉市内の店舗で先行して実施していることもあり、お客さまのご要望を受けて市に提案し、実現したものです。



・リハビリ特化デイサービス「イオンスマイル」で買い物リハビリ

2024年8月、イオンリテールが展開するリハビリ特化デイサービス「イオンスマイル」をイオン大網白里店内にオープン。リハビリの一環として、通常の機能訓練を終えた後に希望者がスタッフとともに「買い物リハビリ」サービスを提供しています。このサービスは、市にご賛同いただき、介護保険対象として実施しています。

「買い物リハビリ」は、何を買おうか考えながら店内を回り、会話を楽しみながらご自身で商品選び、会計をすることができるため、通所者の約4割の方に利用いただいています。



今後、「包括連携に関する協定」の締結を契機に、これまで以上にあらゆる分野で市民サービスの向上を目指し、大網白里市と連携をより一層強化してまいります。

ご参考



【ご当地WAONとは】

イオンは、AEON Payおよび電子マネーWAON（以下WAON）を「いつでも」「どこでも」「誰でも」お気軽に使用いただけるキャッシュレス決済として、利用できる店舗・事業者等の拡大に取り組んでいます。ご利用いただいた金額の一部が地域貢献につながる「ご当地WAON」の取り組みは2009年4月25日、鳥根県大田市との「石見銀山WAON」からスタートしました。

これまでに、全国累計で「196種類」（2026年4月12日時点）のご当地WAONを発行しており、「大網白里マリン WAON」は197種類目のご当地WAONとなります。今後も各自治体と連携のうえ、地域貢献活動の輪を広げてまいります。



ご当地WAONがギネス世界記録™に認定

ご当地WAONは2026年3月24日、『電子マネーの寄付金プログラムで提携している自治体数の記録』※“提携自治体数193”としてギネス世界記録™に認定されました。ご当地WAONは、カード型電子マネーWAONもしくはスマホからのWAONおよびAEON Pay（チャージ払い）にてご利用いただけます。

※：正式記録タイトル

（英）Most municipalities partnered in a regional e-money card donation programme

（日）電子マネーの寄付金プログラムで提携している自治体数の記録

【「大網白里マリン WAON」のご利用について】

カード型の電子マネーWAONは、大網白里市内の「イオン」を中心に発行手数料300円（税込）にて販売します。

また、イオンのトータルアプリ「iAEON（アイイオン）」または「AEON Pay アプリ」をダウンロードいただき、AEON Payチャージ払いおよびWAONタッチの支払いをご利用時に「大網白里マリン WAON」をご当地応援先として設定することでもご利用いただけます。（スマートフォンでのAEON PayおよびWAONの発行手数料は無料です。）